

部活動チェックリスト①

●前日までに

チェック	確認項目
<input type="checkbox"/>	救急体制の確認
<input type="checkbox"/>	指導体制(できる限り複数で)の確認
<input type="checkbox"/>	学校・管理職との連絡方法の確認
<input type="checkbox"/>	保護者との連絡方法の確認
<input type="checkbox"/>	生徒への事前指導(集合時刻・場所、移動方法や緊急時の連絡方法等)
<input type="checkbox"/>	応急処置キットの確認(中身の確認・補充)

●当日の活動前に

チェック	確認項目
<input type="checkbox"/>	生徒の健康状態の把握
<input type="checkbox"/>	気象状況(天候・WBGT・雷)の確認
<input type="checkbox"/>	会場校(施設)の職員がいる場所の確認
<input type="checkbox"/>	会場校(施設)の職員に近隣の医療機関の場所・連絡先を確認
<input type="checkbox"/>	AED・担架の位置の確認
<input type="checkbox"/>	施設・用具の安全確認
<input type="checkbox"/>	会場校(施設)のルールの確認と生徒への周知

部活動チェックリスト②

●活動中

チェック	確認項目
<input type="checkbox"/>	生徒の体調管理(休憩・水分補給等)
<input type="checkbox"/>	気象状況(天候・WBGT・雷)の確認

●活動後

チェック	確認項目
<input type="checkbox"/>	生徒の健康状態の把握
<input type="checkbox"/>	ケガをしたり、体調が悪くなったりした生徒の保護者への連絡 ※状況等について記録を取っておく
<input type="checkbox"/>	生徒の安全な帰宅方法について指導

※ケガをしたり、体調が悪くなったりした生徒がいる場合は、生徒・保護者の気持ちに寄り添った対応に心がける。



休日・校外での部活動ハンドブック



生命第一、治療第一

子どもの体は大丈夫かを第一に考える。

救急体制の確認

- 事故発生時に際しては、すばやく対応できる体制であること。
- 傷病者の状態により、悪化させないような処置ができる体制であること。
- 「学校における緊急度判断基準」を日頃から確認すること。
- 医薬品の投与は行わないこと。

特に…

- 1 頭・顔・胸の強打
- 2 高所からの転落
- 3 熱中症の疑い



素早く、的確に、119番

119番	通報者
火事ですか？ 救急ですか？	救急車をお願いします。
場所は？ 住所は？	○○市立○○中学校です。 ○○市○○町○○番地です。
どうしましたか？	試合中に、選手どうしがぶつかって頭を打っています。意識は。呼吸は。脈拍は。出血は。
誰ですか？	○○中学校○○年生の女（男）子です。 名前は○○です。生年月日は○○です。
あなたは？	○○中学校の○○です。
電話番号は？	○○○一○○○○です。
	正門から誘導します。

※出典：独立行政法人日本スポーツ振興センター

休日・校外での部活動中の救急体制の流れ

発見者・顧問の役割

- ◆発生した事態や状況の把握
- ◆傷病者の症状の確認（頭・胸を強く打っていないか。ABCDに問題はないか）
- ◆心肺蘇生などの応急手当
- ◆協力要請やAED・担架の要請
- ◆救急車の要請
- ◆必要に応じて生徒とも協力

事故現場



発見者



近くの大人の役割

- ◆できるだけ2人以上で現場へ急行
- ◆学校・保護者への連絡
- ◆状況を把握し、必要に応じてメモ
- ◆応急手当
- ◆AED・担架の持参
- ◆救急車の要請
- ◆他の生徒への指示
- ◆必要に応じて生徒とも協力

ためらわず
協力依頼

近くの大人
(他校顧問・他の保護者等)

すぐに連絡

当該生徒の保護者

AED等を活用した 応急手当

近くに大人がいない場合に備え、日頃から、生徒にも緊急時には協力（連絡係・救急箱係・AED係等）してもらう場合があることを伝えておく。

学校・管理職・学校医

報告・相談



教育委員会

教職員として、責任ある行動を